

# ノロウイルスに注意！！



福岡県立社会教育総合センター

## ノロウイルス拡大防止のために、研修生の皆さんへお願いしたいこと

- ☆ 食事や野外炊飯の前、用便後、排泄物の処理のあとは、必ず石けんを使って手を洗いましょう！
- ☆ おう吐の処理は、消毒が必要になります。  
自分たちだけで行わず、センター職員までお知らせください！

## ノロウイルスとは？

幅広い年齢層で感染性胃腸炎の原因となるウイルスで、特に冬季に流行します。少量のウイルスで人に感染し、いったん感染すると急速に感染が拡大していきます。

## 症状

下痢、吐き気、おう吐、腹痛、発熱

通常3日以内に回復しますが、ウイルスは感染してから1週間程度ふん便中に排泄され続けます。



## どうやって感染するの？

感染経路の1つとして、ノロウイルスを含むふん便やおう吐物を処理した後やノロウイルスがついた物を他の人が触れることで、手についたウイルスが口から取り込まれ感染することがあります。

## ノロウイルスはこんなところにも！

手すり、水道の蛇口、ドアノブ、机、イス、引き出しの取っ手、ベッド回りなど、ノロウイルスはいろいろなところに付着します。また、重さがとても軽いため、空中に浮遊することもあります。

## 感染を予防するために…

### ● 手洗い

ノロウイルスによる感染症は、多くの場合、ウイルスに触れた人の手を介して感染が拡大します。社会教育総合センター利用者全員が、手洗いを徹底させることが、感染予防の基本です。用便後、排泄物の処理のあと、食事や野外炊飯の前には、必ず手を洗うようにしましょう。

また、玄関出入り口や食堂前に手指消毒用のアルコールを置いてあります。手洗後は、アルコール消毒をしましょう。

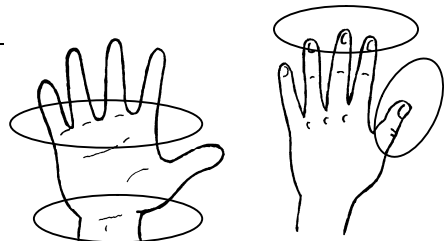


### <手洗いのポイント>

- 石けんを使いましょう！  
石けんを使って十分にこすり洗いをし、水で洗い流すことで、ウイルスは大幅に減少します。
- 正しい手洗いをしましょう！  
各手洗い場に、手洗いの方法を掲示しています。参考にしながら、きちんと手を洗いましょう。
- 汚れが残りやすいところを意識しながら洗いましょう！

汚れが残りやすいところは、こんなところですよ。

- ◎ 指先や爪の間
- ◎ 指の間
- ◎ 親指の周り
- ◎ 手首
- ◎ 手のしわ



## ● 排泄物・おう吐物の処理

ふん便やおう吐物には、ノロウイルスが大量に含まれています。ふん便やおう吐物の処理は、処理をする人自身への感染と、施設内への汚染防止を防ぐため、適切な方法で、迅速、確実に行うことが必要です。



### <おう吐をしたときは・・・>

職員の指導のもと、引率者の方が処理してください。消毒薬の準備等もありますので、おう吐した際はすぐに第1事務室（内線118）にご連絡ください。

おう吐した方は、他の研修生と離れて更衣等行うようにお願いします。

#### ☆ 食堂でおう吐した場合

食堂のスタッフの指導のもと、引率者が処理してください。食器は返却口には入れず、スタッフに渡すようにお願いします。

#### ☆ トイレでおう吐した場合

流した後、職員に連絡してください。他の研修生が使用しないように「使用禁止」にします。その後、清掃に連絡して、処理してもらいます。

#### ☆ 入浴

入浴前に十分洗うよう指導してください。下痢やおう吐など症状がある場合は、入浴を控えるか最後に入浴するなどの配慮が必要です。

#### ☆ おう吐した寝具類の洗濯

おう吐物や排泄物がついた寝具や洋服は、85℃以上の熱湯に1分以上つけて消毒し、他の洗濯物とわけて洗濯します。

（消毒する際もレインコートかエプロン、マスク、手袋を着用。レインコートは作成した次亜塩素酸ナトリウムに10分以上つけた後水拭き）

### <おう吐物の処理の方法>

職員が準備するおう吐物セットに入っている「おう吐物の処理」の資料を参照しながら、適切な処理をしてください。

処理後は、処理者の感染防止と他者への感染拡大防止のため、手洗いをしましょう。

### <消毒液(次亜塩素酸ナトリウム希釈液)の作り方>

#### ☆ ふん便やおう吐物が付着した床、衣類、トイレなどの消毒をする場合

→濃度が0.1% (1000ppm)の消毒液を作ります。

500mlのペットボトルに、ペットボトルのキャップ2杯分(約10cc)の家庭用塩素系漂白剤(5%次亜塩素酸ナトリウム液)を入れ、全体が500mlとなるように水を入れる。

#### ☆ 手すり、ドアノブ、水道の蛇口等直接手で触れる部分の消毒をする場合

→濃度が0.02% (200ppm)の消毒液を作ります。

2Lのペットボトルに、ペットボトルのキャップ2杯分(約10cc)の家庭用塩素系漂白剤(5%次亜塩素酸ナトリウム液)を入れ、全体が2Lとなるように水を入れる。

※ 注意! : 作り置きをすると、塩素がとんで効力がなくなるため、消毒作業の直前に作成する。

(2010年2月15日 作成)